

## 第四九章 千年王国

### I 神の国の概念

一般に聖書の中で神の国とは、宇宙における神の支配の領域を指す。神は常に至高であり、全能であられるから、神の国は永遠であるという意味も含まれている。バビロンの王ネブカデネザルは次のように証した。(ダニエル 4 : 34-35)

サタンの反逆により、神の宇宙支配は挑戦を受けた。神はこの挑戦者たちをさばくことによって主権を示された。けれども、この世に罪が入ったことから、人間の歴史の中における神の主権性を証明するための神のご計画が導入されることになった。これは、神こそが究極の統治者である王国の概念を示している。

アダムは地の支配権を受けたが、罪のゆえにそれを失った。それ以後、神の主権のうちに許された者が統治権をもつようになった。ロマ 13 : 1 は神の主権のうちに立てられる世の支配者のことを表している。

聖書には地上統治に加えて、神が人の心を治める霊的な統治についても証している。(ロマ 14 : 17)

千年王国に関して次の三つの見解が示されている。第一は千年王国前再臨説で、キリストは再臨され、地上の王国を設立されるというものである。第二は無千年王国説で、この見解はキリストが再臨されてすぐに新天新地がもたらされると考えるもので、地上の千年王国を否定する。第三は千年王国後再臨説で、福音は今の時代に最終的に勝利を得、黄金時代をもたらし、その頂点にキリストが再臨されるという見解である。聖書を字義通りに解釈するなら、第一の見解が最も妥当である。

### II 千年王国・地上における神の統治

詩篇 2 篇あるいはイザヤ 11 章やそのほかの多くの箇所、王国が地上に設立されることが述べられているか、暗示されている。このような聖書の箇所の納得のいく成就是やはり、キリスト再臨後に地上にもたらされる千年王国でしかない。

### III 千年王国における王の王としてのキリスト

旧約聖書と新約聖書の多くの箇所が、やがてキリストが地上での最高支配者となられることを証言している。

千年王国の特徴はダビデが復活し、キリストの下で君主として治めることである。(エシミヤ 30 : 9、33 : 15-17、エゼキエル 34 : 23-24、37 : 24-25、ホセア 3 : 5) この状況は今日の教会には存在していないし、この成就のためにはキリストの再臨が必要である。

### IV 千年王国の政府のおもな特色

1 多くの箇所がキリストの統治は全世界に及ぶもので、それまでのどの地上王国よりも広いことを示している。(ダニ 7 : 14、詩篇 72 : 8、ミカ 4 : 1-2、ゼカ 9 : 10 他)

2 キリストの統治は絶対的な権威と力の統治である。キリストは「鉄の杖」をもって治められる。主に反抗するものはすべて打ち砕かれて罰せられる。(詩篇 2 : 9 他)

3 千年王国のキリストの統治は正義と平和の統治である。(イザ 11 章、詩篇 72 篇)

## V 千年王国におけるイスラエルの特別な地位

千年王国において、イスラエルは復活されたダビデの王国の国民となり、特別な地位を与えられるであろう。旧約聖書に多く預言されているように豊かな祝福にあずかるであろう。

## VI 千年王国における王の王としてのキリスト

千年王国において、豊かな霊的環境がもたらされる。これは、サタンがしばられ、罪がさばかれ、キリストが全世界に知られるという事実によるものである。

エレミヤ 31：33-34 に霊的な祝福についての約束が与えられている。また、御霊の内住の力とご臨在、神殿おける新しい礼拝。それまでのどの時期よりも重要な社会的、経済的進歩を生むであろう。

全体として約束の地は、再び世界の花園、地上での神の御国の中心地、そして特別な祝福の場所となるであろう。